

令和6年度さけ・ます放流体制緊急転換事業計画

(令和6年度第1回放流体制検討協議会)

(一社) 岩手県さけ・ます増殖協会

第2 事業の内容及び実施方法、実施体制

1. 事業の内容

(1) 増殖戦略実証調査計画

調査区分	魚種	道県名	ふ化場名	河川名	調査の内容	金額	備考
						円	
放流調査	しろさけ	岩手県	下安家	安家川	増殖戦略に基づく回帰効果の検証、増殖戦略に基づく放流群と従来方法の放流群に標識を付けて放流する。	4,800,000	1,500千尾 3.2円/尾
			津軽石	津軽石川	〃	4,800,000	1,500千尾 3.2円/尾
			甲子川	甲子川	〃	1,280,000	400千尾 3.2円/尾
親魚調査	しろさけ	岩手県	下安家	安家川	増殖戦略河川に回帰した親魚の確認、親魚の耳石標識等から回帰効果を確認する。	109,000	7旬×50尾
			津軽石	津軽石川	〃	47,000	3旬×50尾
			甲子川	甲子川	〃	63,000	4旬×50尾

(2) 放流体制検討協議会開催計画

地域	開催時期	開催場所	検討事項	備考
岩手県内	令和6年7月	宮古市	<ul style="list-style-type: none"> 増殖戦略実証踏査計画に係る検討 耳石温度標識コードの割当 実施遂行状況報告 増殖戦略実証調査のための情報交換 	事業に大きな変更がない場合は書面会議とする。
岩手県内	令和7年3月	宮古市		

(3) 回帰親魚調査計画

	実施場所(河川)	実施内容	調査(予定)時期	調査(予定)尾数	(参考) 令和2年事業による放流状況		
					放流月日	放流尾数	体重
放流体制緊急転換調査	明戸川	従来密度区 採卵…12/上	11月下旬 ～12月中旬	150尾 (50尾×3旬)	3/22	1,250	2.1
		低密度区 採卵…12/上			3/22	860	2.0
	田老川	従来密度区 採卵…11/上～12/上	10月下旬 ～12月下旬	350尾 (50尾×7旬)	4/28.5/11	987	0.8～1.7
		低密度区 採卵…11/中～12/中			5/10～11	729	0.8～1.2
	織笠川	従来密度区 採卵…11/下	11月中旬 ～12月中旬	200尾 (50尾×4旬)	3/16	400	1.2
		低密度区 採卵…12/上			3/31	740	1.2

	盛川	従来密度区 採卵…11/上 低密度区 採卵…10/下	10月中旬 ～11月中旬	200尾 (50尾×4旬)	2/26. 3/10	1,280	1.0
					2/18. 3/10	830	1.0
	気仙川	従来密度区 採卵…11/上 低密度区 採卵…11/中	11月下旬～ 12月下旬	200尾 (50尾×4旬)	3/23	1,442	1.3
					4/12	1,095	1.3
増殖戦略実証調査	安家川	従来密度区 採卵…10/中～11/下 低密度区 採卵…10/中～11/下	10月上旬～12月 月上旬	350尾 (50尾×7旬)	3/4～4/26	4,200	1.21～1.65
					3/1～4/26	3,440	1.22～1.66
	津軽石	従来密度区 採卵…1/上 低密度区 採卵…1/上	12月下旬 ～1月中旬	150尾 (50尾×3旬)	4/30	1,405	1.5
				4/30	1,408	1.9	
	甲子川	従来密度区 採卵…12/中～下 低密度区 採卵…12/中～下	12月上旬 ～1月上旬	200尾 (50尾×4旬)	4/9. 4/16	2,060	1.9
					4/4. 4/19	2,060	1.9

2. 事業の実施方法、実施体制

(1) 事業実施方法

増殖戦略実証調査について、3ふ化場に耳石温度標識を施すための業務を委託し、それぞれの計画に従って生産された施標稚魚試験群を購入放流する。

耳石温度標識の完全な施標を行うための種卵期の管理状況調査及び稚魚期の放流状況調査については、国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所に調査委託し実施する。

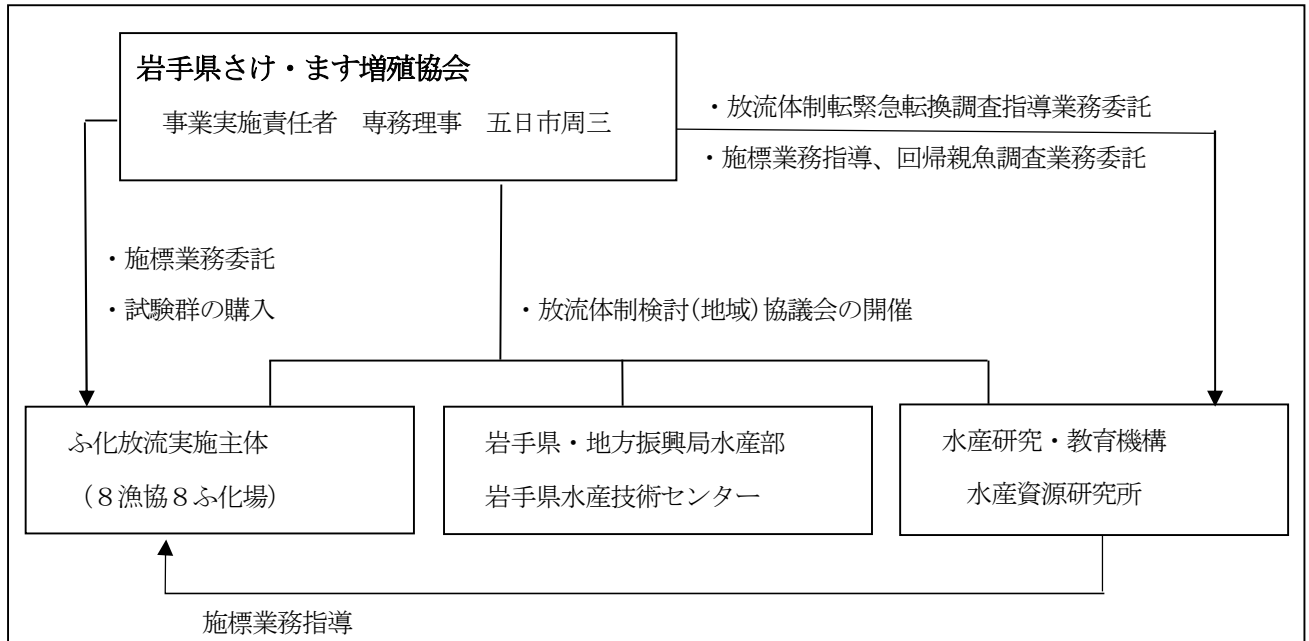
回帰親魚調査については、耳石及び鱗の採取は該当ふ化場、分析は国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所に調査委託し実施する。各ふ化場では、河川水温の連続観測と近隣の沿岸水温観測データを収集し、放流環境を把握する。

これら事業の実施に係る連絡調整、実施状況、情報交換を行うため、県内の関係者を招集し放流体制検討協議会を開催する。

(2) 実施体制

増殖戦略実証調査及び回帰親魚調査については、水産研究・教育機構 水産資源研究所の協力の下、8ふ化場と連携しながら事業を実施する。

放流体制検討協議会については、県内ふ化放流実施主体、県関係及び水産資源研究所の代表者によって開催し、本事業の目的を達成するために必要な事項について協議・検討を行う。



3. 委託の有無

増殖戦略実証調査費・回帰親魚調査費

(1) 耳石温度標識施標業務

委託内容 : 耳石温度標識施標業務

委託理由 : 試験群毎に耳石温度標識施標したサケの稚魚を買上げ放流するが、耳石温度標識を施すためには、発眼卵に耳石温度標識装置を用いて施標することが必要であるため、ふ化放流事業を実施している3ふ化場において管理している種卵に施標する業務を委託して実施する。

委託金額 : 11,675,000円

選定方法 : 随意契約

(2) 増殖戦略実証調査指導業務

委託内容 : 種卵期の施標管理状況調査、稚魚期の放流状況調査

委託理由 : 耳石温度標識は、発眼卵に耳石温度標識装置による管理水温の変化を与えて施標するが、施標に当っては、計画的な種卵の収容計画の作成や装置の稼働に当り、施標パターンどおりのプログラムの設定等が必要なことから、その技術を持っている水産研究・教育機構 水産資源研究所に委託するとともに、稚魚期の放流状況についても同所へ委託して調査を実施する。また、試験群を適切に生産するための技術的指導についても、併せて委託する。

委託金額 : 159,000円

選定方法 : 随意契約

(3) 増殖戦略実証調査(親魚調査)

委託内容 : 耳石、鱗の採取作業及び分析作業

委託理由 : 増殖戦略対象河川の回帰親魚の状況を調査するため、3ふ化場（捕獲・採卵場）に於いて、耳石及び鱗の採取を行い、耳石温度標識の分析と年齢査定を行うため、その技術を持っている水産研究・教育機構 水産資源研究所に委託するとともに、耳石を採取するための技術指導についても併せて委託する。

委託金額 : 219,000 円

選定方法 : 随意契約

(4) 回帰親魚調査業務

委託内容 : 耳石、鱗の採取作業及び分析作業

委託理由 : 回帰親魚の状況を調査するため、5ふ化場（捕獲・採卵場）に於いて、耳石及び鱗の採取を行い、耳石温度標識の分析と年齢査定を行うため、その技術を持っている水産研究・教育機構 水産資源研究所に委託するとともに、耳石を採取するための技術指導についても併せて委託する。

委託金額 : 332,000 円

選定方法 : 随意契約

第3 事業に必要な経費配分

区 分	補助事業に 要する経費	負 担 区 分		備 考
		国庫補助金	自己負担金	
	円	円	円	
さけ・ます放流体制緊急転換事業費	0	0	0	
(3) 増殖戦略実証調査費	23,053,000	17,613,000	5,440,000	
ア 種苗購入費	10,880,000	5,440,000	5,440,000	
イ ア以外の経費	12,173,000	12,173,000	0	
(4) 回帰親魚調査費	610,000	610,000	0	
合 計	23,663,000	18,223,000	5,440,000	